

Gödöllő (ゲデレー)



基本情報

ゲデレーはハンガリーのペシュト県にあり、ブダペストから30キロメートルの Gödöllői-dombság (ゲデレーの丘陵地)に囲まれた町である。人口は約 34396 人である。人口が多いが、静かでもとてもきれいな町である。町の人々のごみ出しに注意をするので、通りや道路などは清潔であり、それから安全な町でもある。

町の紋章は、自分の雛に自分の血を食べさせるペリカンを象徴している。クレストの起源は明らかになっていないが、ひな鳥を自分の血で食べさせるペリカンは自己犠牲などの意味をする。



交通

ゲデレーは交通が非常に便利な町である。ブダペストから様々な交通手段を選ぶことができる。

交通機関についての情報

ブダペストからゲデレー行きのコーチの情報や時刻などはこちらのサイトをご覧ください

<http://www.volanbusz.hu/en>

ブダペストからゲデレー行きの HÉV(郊外電車)の情報や時刻などはこちらのサイトをご覧ください

<http://www.bkk.hu/en/timetables/#>

ブダペスト東鉄道駅からゲデレー行きの電車の情報や時刻などはこちらのサイトをご覧ください

<http://www.elvira.hu/english/index.php>



Gödöllő 内バスの時刻などはこちらのサイトをご覧ください

<http://www.volanbusz.hu/hu/menetrendek/helyi-jaratok>

歴史

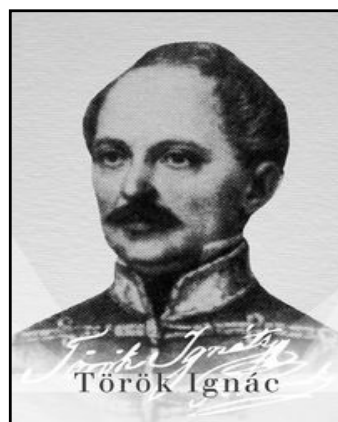
ゲデレー（Gödöllő）は昔から存在している。最初の記録は14世紀のものである。その時ゲデレーの名は Gudulleu, Gudullur, Gödöle, Gedellő などの形でも現れて、人口はまだ非常に

少なかったが、時が流れるうちにどんどん増加した。だが、オスマントルコ帝国による占領で人はほとんどいなくなり、当時の記録によると26家しか残っていなかった。ゲデレーは17・18世紀まで様々な領主に属したが、最後にグラツサルコヴィチ・アンタル伯爵（㊦）の所有になった。グラツサルコヴィチ・アンタルのおかげで様々な記念建造物が建てられた。その中で一番有名の葉ゲデレー城(グラツサルコヴィチ城)と Máriabesnyő の教会である。工事を完全するためグラツサルコヴィチは外国から労働者も呼んだ。そのためゲデレーは多種多様な少数民族や宗教の場所になって、人口も二倍に増えた。市民は皆改革派信者だった。グラツサルコヴィチ家が滅んだ後、城はベルギー人の所有になった。1848-1849年の独立戦争のとき城はアルフレート1世・カンディードウス・フェルディナント・ツー・ヴィンディシユ＝グレーツ



（Alfred I. Candidus Ferdinand Fürst zu Windisch-Grätz）（オーストリアの貴族、軍人、陸軍元帥）、また コシユート・ラヨシュ（Kossuth Lajos、19世紀ハンガリー王国の政治家、革命家）の宿となった。1867年の後ハンガリー国家は城をプレゼントとしてフランツ・ヨーゼフ1世とエリーザベト王妃にささげた。そのときから町はどんどん発達し、道路や電車線や郊外電車などが建設された。ゲデレーは20世紀初頭には人気の場所となり、有名人もよく訪れる町となった。第二次大戦後はソ連に占領されて、城はソビエト軍のバラックとして使われた。1950年ゲデレーに農業大学のキャンパスができて、農業中心になった。1966年1月1日ゲデレーは公的に町に昇格した。ゲデレーは今も人気があり、文化観光地として知られている。

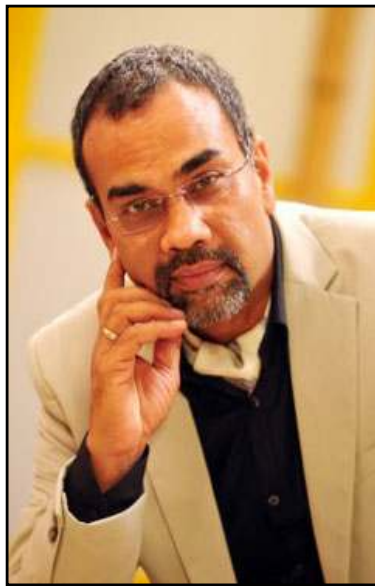
有名人



Török Ignác(トロク・イグナーツ㊦) この町に1795年6月23日に生まれた。1848-1849年の独立戦争の陸軍大将だった。1849年10月6日に絞首刑になった。Arad(アラド、ルーマニア)の殉教者の一人である。彼に対しての尊敬を表すためゲデレーにトロク・イグナーツという学校がある。



Mihály Dénes (ミハイ・デーネシ[Ⓔ]) 1894年7月7日ゲデレーに生まれた発明家である。高校生の時、車とオートバイについての本を書き著した。研究分野は静止画と動画の送信であった。彼は1929年に世界で始めてテレビ動画放送に成功した。



Joshi Barat (ヨシ・バラート[Ⓔ]) 現在もゲデレーに住んでいるテレビタレントである。インドで生まれてハンガリーに留学した。ハンガリーが好きになって現在もここに住んでいる。テレビの人生相談番組に出ている。



Gróf Teleki Pál (テレキ・パール伯爵[Ⓔ]) 1939年から1941年までハンガリー王国の第9代首相であった。ゲデレーではなくブダペストに生まれたが、お墓は Máriabesnyői 教会の墓地にある。またゲデレーには テレキ・パールという広場もある。

観光地

[Gödöllői Grassalkovich kastély](#) (ゲデレー城[Ⓔ]) は 1840 年代にグラツサルコヴィチ・アントル伯爵によって建てられた。オーストリア・ハンガリーの君主制の時 フランツ・ヨーゼフ 1 世とエリーザベト王妃の居所になった。現代は城は博物館として知られている。博物館でオーストリア・ハンガリーの君主制時代の生活と生き方を見ることができる。それに毎月様々な催しが行われている。開館時間は季節と祝日によって違うので、訪問する前サイトをチェックすることをお勧めする。外国語で行われているガイドもあるので、外国人にも楽しくて、わかりやすい。建物の中に喫茶店もトイレもある。お土産も買うことができる。





Erzsébet park (Erzsébet szobor[㊦])

エリーザベト公園（エリーザベト王妃の彫像）

大きい公園で、散歩も楽しむこともできる。週末子供たちは親と一緒に歩いたり、遊んだり、自転車に乗ったりする。公園の前ケーキ屋があるので、平日も放課後は学生でにぎやかである。その上駅も近い。この公園の特徴は中で立っているエリーザベト王妃の彫像である。

Arborétum（アルボレートム）

1920・1930年ハンガリーの一番意義深いアルボレートムであった。現在木が何百本もあり、エリアの90%が林業研究のために使われているが、残った10%が公園となっている。開園時間は毎日午前8時～午後4時までだが、12月には入園することが出来ない。

Máriabesnyői

kegytemplom/Nagyboldogasszony Bazilika

㊦ この教会はちよつと遠いが、とても有名な場所である。この教会は1761年に聖母マリアの尊敬のためにグラツサルコヴィチ・アンタルが建てた。ここにハンガリーの一番小さな kegyzobor（高さ11cm、直径4cm）があるので、教徒がたくさん訪れる。

Bazilika はグループでのみ入れ必ずガイドをつけなければならない。現在、外国語ガイドの値段は1グループ3500ftである。



住所 2100 Gödöllő-Máriabesnyő, Kapucinusok tere 1.
事務所の電話番号+36/28-414-425
開店時間 月・火・水・金 9時～12.30時、15時～17時

Gödöllői kastély temploma (ゲデレー城の教会) 1749年に Nepomuki Szent János (ネボムキ・サント・ジャーノシユ)に敬意を表すため、グラツサルコヴィチ・アントルが建てた教会。内装はバロックスタイルでデザインされ豪華に装飾されている。毎週の日曜日に11時からカトリック教徒のミサが行われている。

Gödöllői Városi Múzeum

ゲデレー市の博物館

2001年の「年の博物館」の賞をもたらしたゲデレーの博物館。セセッション様式で、ハンガリー国のスカウト団体の著作集の常設展示がご覧出来る。その以外様々な展覧会もある。



基本情報

Gödöllői Városi Múzeum
住所 2100 Gödöllő, Szabadság tér 5.
電話番号 28/ 422 002, 421-997
開店時間 水～日 10時～16時
メールアドレス
muzeum.g@gmail.com,
varosi.godollo@museum.hu,
godolloi.muzeum@vnet.hu

[Művelődési központ](#)Ⓓ 町の中心にある文化センター。一年中様々な催しや会議や演劇などが催されている。その以外にも講習に申し込むことも出来る。最近文化センターのビルが欧州連合の支援で改築された。



Szent István Egyetem (セント・イシュトヴァン)大学は2000年1月1日に建設された。大学には経済と社会科学、農業と環境科学、機械工学科学などがある。学寮があり留学生もいる。

レストラン

Kastélykert étterem 文化センターと城の間にあるレストラン。特にハンガリー料理、例えばグヤーシユスープなどが食べられるレストランである。時期によって様々な割引もある。WIFIがあるので、インターネットも無料で使うことが出来る。春から秋までレストランのテラスで食事したりコーヒーを飲むのが楽しい。

Erzsébet Királyné étterem (エリーザベト王妃レストラン) 町の中心にある Erzsébet ホテルに属している三つ星のレストラン。国際的な料理や国内の魚や肉や狩場料理など幅広い広い選択が可能。ベジタリアン料理も提供する。990 フォリントの週替わりメニューもある。レストラン以内にカフェとギャラリーもある。

PizzaMax Caffé カフェとレストラン。特にピザやイタリア料理が食べられるレストランであるが、寿司も注文出来る。日替わりメニューが二種類ある。宅配も可能。

Solier Cafe カフェでありレストランとケーキ屋でもあるのでいろいろなものが食べられる。朝食、昼食、晚食いずれも食べることが出来る。インテリアは近代的でモダン。ワインの種類も豊富で、様々なハンガリーのワインがある。週替わりメニューもある。

喫茶店

ゲデレーはカフェの町とも呼ばれている。町の小ささの割には喫茶店やカフェがたくさんある。原因は多分ゲデレーに住んでいる人は静かで、小さくて、雰囲気の良いお店が大好きだということにある。こういうお店は毎日仕事と学校が終わった後、話し合ったり、笑ったりする人々で混雑している。

Sissi fagyizó (シシアイスクリーム屋) 特にアイスクリームを売っているお店であるが、カキ氷もある。アイスクリームの量が多いので、人気な売店である。普通春から秋まで開店する。冬は天気が寒いので閉店する。

Sulyán (シユヤーン) 市庁舎の前にあるケーキ屋と喫茶店。内側にテーブルが少ないが、夏るとき喫茶店の前にテーブルが並んでいるので、人数が多い場合もだいたい座ることができる。町の中央広場にあるので簡単に見つけることが出来る。

Tűztorony (「火のタワー」) このお店は特に学生にお好まれているが、大人もよく通っている場所でもある。ここでは様々な軽い食べ物だけではなく多種多様な飲み物やお菓子やケーキなどが提供されている。チョコレートフォンデュで有名なお店である。それにアルコールコクテルも売られている。あまり簡単に見つけることができない場所であるが、とても楽しい喫茶店である。

Novo Café (ノワオ・カフェ) 文化センターに属している喫茶店である。コーヒーやアルコールやケーキなどが注文出来る。夏テラスに座ることが出来る。インテリアはきれいである。城の近くにある。それにバス停も駅も遠くない。

Monarchia Rétesház (モナーキー・レーテシユハウス) 当店でハンガリーの伝統的な rétes レーテシユⓉ (ドイツ語でシユトウルーデル)



という菓子を食することが出来る。この菓子は普段りんごやチェリーを巻いている菓子であるが、キヤベツやきのこなどの塩味をするものを巻いてるのも珍しくない。店はオーストリア、ハンガリー君主国の時代の雰囲気がする。

ホテル

[Erzsébet Királyné Szálloda](#) (エリーザベト王妃ホテル[㊦]) ゲデレーの都心でゲデレー城からも遠くなくて、三つ星のホテルである。ホテルの一階にエリーザベト王妃レストランがある。

メールでも電話でも問い合わせることが出来る。インターネットに接続することが出来る。

Erzsébet Királyné Szálloda

住所 2100 Gödöllő, Dózsa György út. 2.

電話番号+36-28-816-817

ファックス番号+36-28-414-859

メールアドレス info@ekhotel.hu



[Hegyési Vendégház](#) ヘジエシ、ゲストハウス

森に囲まれていて、静かなゲストハウスである。ここから見える景色はきれいで、ゲストハウスの庭でプール、遊び場、卓球台などがあるので子供も楽しい時間を過ごすことが出来る。それにインターネットに接続することが出来る。ゲストハウスのオーナー達は英語とドイツ語が出来、楽しい催しやプログラムを喜んで提案する。

Hegyési Vendégház 住所 2100 Gödöllő, Hegyesi Mari u. 3/b

電話とファックス番号+36 28 432 590 携帯電話番号 +36 30 940 2191

メールアドレス borgoncbt@vnet.hu ; borgoncbt@hegyesivendeghaz.hu

[Jakab Vadászház Panzió](#) ヤカブ、ワダースハーズ、ペンション

ゲデレー町から2キロメートルの森に囲まれたペンションである。ここでアーチェリーや鷹狩りを体験することができる。またユルタ（伝統的なテント）の立て方についても体験できる。

住所 2101 Gödöllő, Szentjakab,
Pf. 164
電話番号+36 (20) 225-6846
メールアドレス info@jakabpanzio.hu

Panzio Sissi ペンション・シシイ ゲデレーの都心にあるペンション。ゲデレー城から遠くない。ノンストップ受付業務以外にインターネットもレストランもある。

Panzio Sissi 住所 2100.Gödöllő,
Dózsa Gy.u.36.
電話番号 +(36)28-545-540;
+(36)28-545-550
メールアドレス panziosissi@invitel.hu

Arukikata

おすすめの歩き方

Kastély-Művház-Múzeum-Monarchia Rétesház-Városháza Világbéke gong-Sulyán

出発点ゲデレー城 ゲデレー文化センター モナーキー・レーテシユハウス 市庁舎前
世界平和ゴングⒺ シシイアイスクリーム屋

出発点はゲデレー城です。ここから交差点の横断歩道を渡って、まっすぐに行くと文化センターの丸い形をしているビルが見えてきます。入り口には Novo Café という喫茶店が隣接しています。こちらでコーヒーや飲酒をお楽しみください。文化センターで面白い展覧会があるので、一回だけでも入ってみるといいと思います。それにゲデレーの催しやプログラムに関してのちらしもあり、トイレも無料なので便利です。



文化センターを出るとすぐ地下道が見えます。地下道の壁に色々な絵画があります。その絵画はゲデレーにある学校の生徒が描いたペイティングです。地下道を最後まで渡ると右側に黄色い建物があります。その黄色い建物はハムワイ邸宅 (Hamvay Kúria) と呼ばれています。その建物はゲデレーで最も古い建物の一つです。壁に Gödöllői Városi Múzeum (ゲデレー市の博物館) という字が書いてあります。そして黄色い建物の壁の中のアーチに入ると博物館の入り口がよく見えます。博物館を出ると左側の小さい広場に噴水があります。その噴水の右側に モナーキー・レーテシユハウスがあります。そこでハンガリーの伝統的なレーテシユをお楽しみください。味が多種多様があるので、お好きなレーテシユが見つかると思います。次のストップは世界平和ゴングⒺです。世界平和ゴングはゲデレーの

中央広場にあります。世界平和ゴングはインドネシアからのプレゼントです。直径2メートル、重さ150キロで、ヨーロッパの第一の平和ゴングです。ゴングの近く広場の向こう側にシュヤーンという喫茶店が見えます。そこでおいしいアイスクリームやケーキをお楽しみください。これで歩き方は終わりです。喫茶店は都心にあるので、ここからどこへでも歩いて行けます。



- ①ゲデレー城
- ②エリーザベト公園（エリーザベト王妃の彫像）
- ③ゲデレー文化センターと Novo Café（ノウォ・カフェ）
- ④Kastélykert レストラン
- ⑤ゲデレー市の博物館
- ⑥モナーキー・レーテシュハウス
- ⑦世界平和ゴング
- ⑧シュヤーンケーキ屋
- ⑨シシィアイスクリームや
- ⑩エリーザベト王妃ホテルとレストラン
- ⑪Tűztorony（「火のタワー」カフェ）
- ⑫PizzaMax Cafféと Panzio Sissi（ペンション・シシィ）
- ⑬Solier Cafe
- ⑭Szent István Egyetem（セント・イシュトヴァン大学）